

## 「ふるさとの森づくり県民の集い」に参加しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構  
森林整備センター 長野水源林整備事務所



平成30年6月2日(土)、「続けよう笑顔をつくる 森づくり」を大会テーマとして、「平成30年度ふるさとの森づくり県民の集い」(第69回長野県植樹祭)が、長野県、中部森林管理局、売木村などの主催で、開催されました。

会場は、下伊那郡売木村「南信州広域公園」と周辺の村有林で、近くには、売木村と共創してきた50年を超える水源林があります。

当日は、快晴の下、地元小学生ら約1,000人の参加者が、60年生のカラマツ人工林の帯状伐採地に、約4,500本のヒノキを植え、「植えて・育て・利用する森林・林業のサイクルを取り戻す」活動に、大粒の汗を流し取り組みました。

会場内には、森林整備活動のPR、郷土物産品の展示・販売、森林教室など、様々なコーナーが設けられていました。

当事務所では、職員が植樹に参加するとともに、会場にブースを設け、パネルの展示や、「木のたまごづくり」、「木の漢字当てクイズ」を行い、水源林造成事業のPRを行いました。



「木のたまごづくりコーナー」では、子ども達は、好きな木玉を選んで、動物の絵や自分や家族の顔など、思い思いの絵を描いて、自分だけの「木のたまご」を作っていました。



この「木のたまご達」が、子ども達にとって、「笑顔でつくる森づくり」のきっかけとなり、森づくりの輪が循環していくことを期待しています。

当事務所では、これからも地域のイベントに参加し、より多く地域の皆さまに、木や森林に関心を持っていただき、水源の森林づくりの輪が県内各地に広がっていくように頑張ります。